

会 報 <<第425号>>



次代を築くヒューマン・ネットワーク
一般社団法人兵庫県建築会

令和3年3月1日

<<目 次>>

I	特別寄稿	「小さなよろこび」 名誉顧問、前会長 瀬戸本 淳 氏	・・・2頁～3頁
II	特別寄稿	「ひょうごボランタリープラザ」 (社福)兵庫県社会福祉協議会 ひょうごボランタリープラザ 事務局次長兼総務調整部長 西森玲治 氏	・・・4頁～6頁
III	お知らせ	行事予定 編集後記	・・・6頁
IV	知事からのメッセージ	「県民の皆様へのお願い」	・・・7頁
V	コロナ対策各種リンク		・・・8頁
VI	広報コーナー	ひょうごスタイル、住宅再建共済制度、住宅瑕疵担保責任保険	・・・9頁～11頁





I 【特別寄稿】

「小さなよろこび」

瀬戸本 淳 氏（当会名誉顧問、前会長）

2013年に「光の犬」と題してこんな文章を書きました。

『春の休日、サックスの練習に疲れ私は昼寝をしています。10才になる陽気なビーグル犬のハルちゃんが私に寄り添って寝ています。私の腕を抱いてくれています。わずかな時間ですが、同じこの世を生きて、こんなぜいたくをしてよいのだろうか、思ってしまう。いつかきっと愛の負債を背負ったままで、別れの時が来るのでしょうか。そして深き淋しさを静かに抱くことになるのでしょうか。』

ハルちゃんはこの3年後にあの世に行きました。



3年前から、ご近所の犬のトラちゃんと朝の散歩をするようになりました。トラちゃんは、生まれてしばらくした頃、2011年の東北太平洋沖地震のために神戸の家に引き取られた被災犬です。真っ白の大きなシェパードです。手足の指先が太くてまるで白いオオカミのようですが、やさしい顔をしています。トラちゃんを飼っているお家は、事情があってどうしても散歩に連れていくことができません。日頃から庭先にいるトラちゃんにちょっぴりかけかけていた私が、飼い主さんをお願いして一緒に行くようになりました。毎朝、トラち

ちゃんはまだかまだかと、庭先から私の来るのを待っています。見つけた時の喜びよう、はしゃぎようはとてもダイナミック。そのために少々の雨でも、ゴルフの時でも、頑張っている。

散歩は40分ぐらいで裏山がコース。いつも出会う小型のメス犬とは、お互い顔をすりあって喜び、クッキーやジャーキーをくれるおばさまには走っていきます。トラちゃんは残念ながら学校に行っていないので、私にかまわず、きままに引っ張ります。これが私にとって最高のトレーニングになっています。実は私の方が散歩に連れていってもらっているのです。お礼のおやつを少し多めにやって、お互いよろこびと慰めあいの散歩が終わります。おかげで私、最近歩くのが少し速くなりました。

今年の夏、トラちゃんの歩き方が急に変わってきました。途中で腰砕けになるのです。大きなタオルで腰を引っ張り上げてちょっとだけ散歩をするのですが、とうとう歩けなくなってしまいました。飼い主さんも近所のトラちゃんファンみんなも、悲しそうな目をするトラちゃんを見て、10才になる前で逝くにはまだ早いのにね、との心配顔。私もまた、愛の負債を背負ったまま、別れの時が来るのかと覚悟しました。

数日後、悲しい思いで様子を見に行きました。なんといつものように散歩に行こうと言っているではありませんか。いったいどうしたのでしょうか。飼い主さんが、とてもおいしい肉のご馳走をあげたそうです。それで治ったのか、夏の暑さが強烈だったのが原因なのか、ひょっとしたら単なるギックリ腰だったのと違うの、と彼に聞いています。寒くなるにつれトラちゃんはますます元気で、またよろこびと慰め合いを味わっています。



土曜日は、自宅でサックスの練習をしています。阪神淡路大震災の前のことですが、西宮のヨットハーバーのサロンで、オリバーソースの道満さんのサックス演奏を聴きました。彼は大学では軽音楽部だったので、とても上手です。私もやってみようと思い尋ねてみると、「サックスなんて簡単やで。」それだったらやってみようと、さっそくヤマハにサックスと教本を買いに行きました。ポートアイランドの19階の自宅で懸命に吹くのですが、スーズーズーというだけで音が出ません。何とかちょっとだけ音が出るようになった頃、とんでもなく近所迷惑になるので、トイレの中でブーブーやっていました。そして阪神淡路大震災。練習どころではなくなったので中断。東灘の山の方に居を構え、少し落ち着いてきたころ、自分が下手くそなのは楽器のせいに違いはないと考え、音楽家の宮本慶子先生に相談して少し上等のヤマハのサックスを手に入れました。大阪新地の有名なサックス奏者からは、使っているマウス [口の部分]、リガチャー [リードを押さえる金具]、リードの種類をしつこく聞きました。もうこれで装備は完璧です。しかしながらちっとも簡単な楽器ではありませんでした。教本も私は楽譜が読めないの、理解ができません。仕方がないので、渡辺貞夫さんにサインをしてもらったCDの9曲をなぞることにしました。とにかくそれをやってから、自分でも吹けそうな曲に土曜日の2時間、挑戦して

いきました。こんな下手くそでも人前で演奏する厚顔さは持っています。誠に迷惑な話ですが。

上海旅行の際、中国古箏演奏で有名な伍芳 (ウファ) さんに、彼女が首席で卒業した上海音楽学院に連れていってもらい、そこの楽器店で憧れのセルマーのサックスを買いました。嬉しかったです。最近では当会の設計事務所の長坂さんが、イタリア人のサックス演奏を300曲吹き込んで下さったので、それを2~3時間なぞりながら全力で奮闘しています。ひと通り300曲練習するのに10日かかります。とてもありがたいです。思い通りに上手くならないのは、苦しい人生のようです。でも小さなよろこびでもあります。

4年前から月2回、イタリア語のレッスンに通っています。先生はやさしくて、かわいくて、同じ受講生も楽しい人たちなのに、ちっとも上達しません。この調子でレッスンを受けることができるのなら、別に上手くならなくていいと思っています。しかし古いカンツォーネや、単純な言葉しか言わないマカロニウエスタン映画などは少しわかって嬉しいです。小さなよろこびはいっぱいあって、なんだか一切が身にあまるありがたいことです。



Ⅱ 特別寄稿

『ひょうごボランティアプラザ』
(社福)兵庫県社会福祉協議会
ひょうごボランティアプラザ
事務局次長兼総務調整部長 西森玲治

1 はじめに

「ひょうごボランティアプラザ」は、神戸駅前の神戸クリスタルタワー6階にあり、県内のボランティアセクターの活動を支援するとともに、その交流と協働を支えるプラットフォームとして、県民の参画と協働による「新しい公」の担い手づくりに取り組んでいます。



神戸クリスタルタワーとプラザ内部

2 開設の経緯

ひょうごボランティアプラザの開設に至る経緯として、平成7年に発生した阪神・淡路大震災に触れざるを得ません。この震災では全半壊家屋が約25万棟、死者が6千人を超える甚大な被害が発生し、震災後の被災者救援ニーズも膨大なものとなりました。行政だけではそれに応えることができず、支援の担い手として、最初の1か月で約62万人のボランティアが被災地に駆けつけたと言われていています。この震災の復興計画の中で「ボランティア活動支援センター〈仮称〉」の整備が明記され、その後のNPO法(平成10年3月)や県民ボランティア活動促進条例(同年12月)の施行等を踏まえ、平成14年6月に開設されました。

3 設置の趣旨及び活動方針

ひょうごボランティアプラザは、開館以来、成熟した市民社会の構築に向けたボランティア活動を支援するため、「地域支援拠点や中間支援組織に対する支援」「情報ネットワークの基盤強化」「多彩な活動資金支援」の3つの活動方針に基づき事業を展開してきました。また、阪神・淡路大震災の経験から生まれた機関として、頻発する災害や東日本大震災等の被災地へのボランティアバス派遣、支援の受け皿づくりなどを行っています。



東日本大震災ボランティアバス

4 具体的な活動内容

前述の3つの活動方針に基づき、①交流・ネットワークの強化②活動資金支援③情報の提供・相談④人材養成(エンパワーメント)⑤調査研究⑥災害ボランティア活動の支援という6つの柱を立て、事業を展開しています。

① 交流・ネットワークの強化

NPO、企業、大学、行政などの地域を構成する多様な主体が参加する「ひょうごボランティア地域づくりネットワーク会議」を開催し、分野に特定されることなく地域の課題解決を考え協働するための場を提供するとともに、NPOと行政の協働をさらに進めるため、中間支援組織全体のレベルアップを目的とした意見交換会を開催しています。

②活動資金支援

兵庫県が平成14年4月に創設した「ひょうごボランティア基金」の果実収入（運用益）及び寄附金をもとに、草の根のボランティアグループ・団体、NPO法人等の活動に対して資金支援を行うことで、県内におけるボランティア活動の活性化を図るとともに、地域活動の課題解決への取組を支援しています。

③情報の提供・相談

ひょうごのボランティアセクターのポータルサイトとして「地域づくり活動情報システム（コラボネット）」を運営し、ボランティア活動に取り組む団体・個人にとって必要かつ有益な情報（助成金、イベント、ボランティア活動、活動単体の情報等）を発信しています。

また、専門の相談員を設置し、ボランティア活動やNPO法人の設立・運営等に関する相談にも応じています。



地域づくり活動情報システム（コラボネット）

④人材養成（エンパワーメント）

災害ボランティアコーディネーターの育成に向けた研修等を実施し、ボランティア活動を推進する者の養成を進めています。

⑤調査研究

ボランティア活動に関する社会的な課題や支援方策について、様々なテーマを設定し、調査研究を進めています。特に、阪神・淡路大震災の発生から25年を迎えた昨年度には、県民ボランティア活動実態調査を実施し、ボランティア活動全体の変化やその評価等に関して調査を行ったところです。

⑥災害ボランティア活動の支援

「災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議」を設置し、災害時における災害救援ボランティアが最大限の力を発揮できるよう、平時からの情報交換、課題の検討等を進めるとともに、行政、社会福祉協議会、NPO等の多様な主体の参加のもと、大規模災害の発生を想定した訓練を実施しています。

また、甚大な自然災害発生時における被災地の早期復旧や、東日本大震災、熊本地震、平成30年西日本豪雨の被災地等における復興に向けたボランティア活動を支援するためボランティアバスの派遣を行うとともに、NPO等が企画するボランティアバスについても支援を行っています。

なお、昨年からは「ふるさとひょうご寄附金」を活用し、大規模災害時に被災地でボランティア活動を実施する団体・グループを対象に、被災地までの交通費や宿泊費の一部を助成する「大規模災害ボランティア活動応援プロジェクト」を創設し、昨年発生した台風19号災害に初適用するなど、被災地の早期復旧・復興を支援する取組を進めています。



西日本豪雨被災地におけるボランティア活動

5 おわりに

現在の新型コロナウイルス感染症の流行は、ボランティア活動にも大きな影響を及ぼしています。「困っている人にじかに接し、寄り添う」というボランティア活動は、感染拡大防止の観点から控えざるを得なくなり、多くのボランティア団体がコロナ禍におけるボランティアのあり方を模索しているところです。

災害ボランティアについても同様に、感染拡大が懸念される状況では、被災地住民の意向を前提としつつ、原則として被災地域内での支援を中心に考える等の方針が全国社会福祉協議会などから示されています。そのため、九州地方を中心に甚大な被害をもたらした令和2年7月豪雨に際しても、当プラザが従来取り組んできた被災地支援（ボランティアバスの派遣、大規模災害ボランティア活動応援プロジェクトの適用等）を原稿執筆段階では行うことができておりません。今後、感染症流行時におけるボランティア支援のあり方を検討していく必要があると認識しています。

ただ、専門的な知識・技術を有する者によるボランティアについては、例外的に県外からも受け入れる意向を示す自治体もあると伺っています。今後、同様の災害が発生した際には、専門的な知見や技術を有する（一社）兵庫県建築会様にもお力添えをお願いすることがあるかと思われまますので、その節は宜しく願いいたします。



III お知らせ

◎ 行事予定

1 令和2年度第6回理事会

日時：令和3年3月25日（木）
13：00～14：00
場所：東急 REI ホテル

2 令和3年度第1回理事会

日時：令和3年4月22日（木）
13：00～14：00
場所：東急 REI ホテル

なお、これら行事につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に鑑みて、中止、延期等が想定されます。変更等のお知らせは郵便、メール等でご案内しますのでご了承ください。

◎ 編集後記

先にお知らせしましたように、兵庫県の緊急事態宣言が延長されたため、3月の第490回月例会は延期となりましたが、講師の伊藤浄真氏とのお話で、4月にご講演頂くことで調整を行っています。決定次第お知らせしたいと思っています。

月例会の中止などコロナに終始した令和2年度でしたが、新しい令和3年度は事業がすっきりした形で実施できたらと事務局として切に願っています。

事務局：吉本義幸、石井滝実子
電話：078-996-2851
FAX：078-996-2852
Email：archit-k@axel.ocn.ne.jp

IV 【知事からのメッセージ】

県民の皆様へのお願い（家庭、施設等へのウイルス持込み防止）

年度末を控え、今ここで対策を緩めると、行事等を通じて感染が再拡大するおそれがあります。県民の皆様、特に若い方々には、ご自身の健康や行動に注意していただき、家庭や施設等にウイルスを持ち込まないよう、引き続き、次の取組にご理解、ご協力をお願いします。日中も含めた**不要不急の外出の自粛**を強くお願いします。

- **不要不急の都道府県間の移動や、緊急事態宣言対象地域をはじめリスクのある場所への出入りを自粛**してください。
- **家庭内も含め、大人数での飲食や長時間に及ぶ飲食を控えるとともに、食事中の会話を極力控えて**ください。
- **卒業旅行、謝恩会、歓送迎会、花見による宴会などを控えるよう**お願いします。
- 毎日の**検温**、手洗い、マスクの着用など**健康管理を徹底**し、発熱、息苦しさ、味覚の異常など**症状のある場合は、出勤、通学等を控える**とともに、すぐにかかりつけ医などに**電話で相談**してください。
- **在宅勤務（テレワーク）**に積極的に取り組むなど出勤抑制にご協力をお願いします。

皆様一人ひとりが「うつらない・うつさない」との強い思いで取り組むことが大切です。医療・福祉従事者はじめ、県民の健康や暮らしを支えている方々などには、心より感謝申し上げます。ともにこの難局を乗り越えましょう。

令和3年2月22日

兵庫県知事 井戸 敏三

V コロナ対策各種リンク

(内閣府)

<https://corona.go.jp/>

(兵庫県)

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/>

(神戸市)

https://www.city.kobe.lg.jp/kenko/covid_19/index.html

(尼崎市)

<https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/1009441/1020259/index.html>

(宝塚市)

<https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/kenkofukushi/kenko/1027276/1036228.html>

(伊丹市)

http://www.city.itami.lg.jp/SOSIKI/KENKOFUKUSHI/KENKO_SEISAKU/infectious_desease/CovInfo/index.html

(明石市)

<https://www.city.akashi.lg.jp/hokensyo/h-yobou/kansen/hassei/ncov.html>

(加古川市)

<https://www.city.kakogawa.lg.jp/koronaosirase/3/28087.html>

(姫路市)

<https://www.city.himeji.lg.jp/covid19/index.html>

(豊岡市)

<https://www.city.toyooka.lg.jp/kurashi/iryokenko/yobosesshu/1009474/index.html>

(和田山町)

<https://www.city.asago.hyogo.jp/category/14-0-0-0-0.html>

(NHK)

<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/>

*Ctrl キーを押しながらクリックしてください。

新型コロナウイルスの感染拡大を予防する 「ひょうごスタイル」

兵庫の新たな生活様式「ひょうごスタイル」を取り入れ
新型コロナウイルス感染拡大予防にご協力をお願いします

I 感染拡大を予防する「日常生活」(ライフスタイル)

1 ウイルスとの共存を意識した生活習慣

- (1)「3密」(密閉・密集・密接)の回避
- (2)身体的距離(ソーシャルディスタンス)の確保(できるだけ2m。最低1m)
- (3)マスクの着用(※)、咳エチケットの徹底
- (4)手洗い・手指消毒(手洗いは30秒程度、石けん・消毒薬の利用)
- (5)体温測定・健康チェック(熱や風邪の症状がある時は自宅で療養)
- (6)発症時やクラスター発生時に備え、いつ誰とどこで会ったかを記録



※熱中症リスクを考慮し、屋外で人と十分な距離(少なくとも2m以上)が確保できる場合は、マスクをはずす。

2 日常生活の各場面別の行動スタイル

(1)買い物	<input type="checkbox"/> 通販、電子決済の利用 <input type="checkbox"/> 展示品への接触は控える <input type="checkbox"/> レジに並ぶときは、前後にスペース <input type="checkbox"/> 計画を立て、1人又は少人数ですいた時間に素早く済ませます
(2)公共交通機関	<input type="checkbox"/> 会話は控えめに <input type="checkbox"/> 混んでいる時間帯を避ける <input type="checkbox"/> 徒歩や自転車も併用する
(3)食事	<input type="checkbox"/> 持ち帰りや出前、デリバリーも利用 <input type="checkbox"/> お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避ける <input type="checkbox"/> 対面ではなく、横並びで座る <input type="checkbox"/> 会話は控えめに <input type="checkbox"/> 大皿は避け、料理は個々に
(4)娯楽・スポーツ等	<input type="checkbox"/> 公園はすいている時間、場所を選ぶ <input type="checkbox"/> 筋トレやヨガは自宅で動画を活用 <input type="checkbox"/> ジョギングは少人数で <input type="checkbox"/> すれ違うときは距離をとる <input type="checkbox"/> 予約制を利用する <input type="checkbox"/> 歌や応援は、十分な距離の確保かオンラインで
(5)冠婚葬祭等	<input type="checkbox"/> 多人数での会食は避ける <input type="checkbox"/> 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

II 感染拡大を予防する「働き方」(ワークスタイル)

- 在宅勤務(テレワーク)、ローテーション勤務、時差出勤の推進 会議はオンラインで
- 対面での打合せは換気とマスクを 発熱など体調不良の従業員の出勤を停止 職場での「3密」防止

III 自然災害と感染症との「複合災害」への備え(災害文化)

1 「新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営ガイドライン」の活用

2 複合災害に対応するための事前準備

- ・ 自然災害と感染症との「複合災害」に備え、避難場所・避難所の確認や避難所での対応等について、事前に準備
- ・ 避難判断にあたっては、「マイ避難カード」や「ひょうご防災ネット」アプリを活用

安心をカタチに

兵庫県住宅再建 共済制度

フェニックス共済



自然災害から守りたい「住まい」と「暮らし」

今後、もしも！！

南海トラフ地震が発生したら

- ▶ 30年以内の発生確率 最大 80%!
- ▶ 県内の被害想定 全半壊 21.5万棟!

活断層地震が発生したら

- ▶ 油断できない「山崎断層帯」「上町断層帯」など

大型台風が直撃したら

豪雨による災害が発生したら

自然災害で被災した住まいの再建に備えて **兵庫県が実施する共助のしくみ!**

<p>県内に住宅(戸建て・マンションなど)をお持ちの方に</p> <p>住宅再建共済</p> <p>年額5,000円で 再建、補修時等に 最大600万円給付!</p> <p>※半壊(損害割合 20%)以上</p>	<p>一部損壊特約</p> <p>プラス</p> <p>年額500円で 補修時等に 25万円給付!</p> <p>※損害割合10%以上20%未満</p>	<p>県内の住宅(借家含む)にお住まいの方に</p> <p>家財再建共済</p> <p>単独加入 年額1,500円で 住宅とセット加入の場合 年額1,000円で 購入・修復時に 最大50万円給付!</p> <p>※床上浸水・半壊以上</p>
---	---	--

※ 住宅の被害認定(損害割合)は、住宅の所在する市町が発行する「り災証明書」によります。

- 地震・津波・豪雨・台風・地すべり・竜巻など、あらゆる自然災害による被害が対象です。
- 住宅の築年数や規模、構造等と関係なく、定額負担で定額給付です。
- 地震保険や他の共済に加入していても加入でき、給付が受けられます。

お問い合わせ

公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金

コールセンター **078-362-9400** (平日9:00~17:00)
FAX: 078-362-4082

E-mail jutakukyosai@pref.hyogo.lg.jp

フェニックス共済 [検索](#) ★加入申込書はダウンロードできます★



「加入申込書付きパンフレット」は、県庁・県民局・県民センター・市役所・町役場・郵便局(簡易郵便局除く)にあります。

クレジットカードでのお支払いの方は、インターネットからのご加入が便利です!

住宅保証機構株式会社 住宅瑕疵担保責任保険「まもりすまい保険」

- ① 当センターで「兵庫すまいづくりクラブ」に入会・保険申込いただくと、住宅保証機構株式会社認定団体である「関西すまいづくり協議会」団体割引制度が利用可能。
※本団体が定める品質管理基準に適合が条件
- ② 共同住宅大規模物件割引：1住棟の保険申込数が20戸以上の場合、全住戸に対する保険料が割引。
- ③ WEB申込で「オンラインサービス」申込利用割引。



詳しくは <https://www.mamoris.jp/>

お見積り、お問い合わせは

(公財) 兵庫県住宅建築総合センター

〒651-0088 神戸市中央区小野柄通7丁目1番1号（日本生命三宮駅前ビル7階）

TEL078-252-0092 fax078-252-0096

